

小諸市長 小 泉 俊 博 様

小諸市議会議長 林 稔

市民の声を届ける要望書

小諸市議会では本年5月9日から5月16日にかけて、市内7ヶ所で「議会と語る会」を開催致しました。今回のテーマは「複合型中心拠点誘導施設について」で、市民139名の参加をいただきました。

全ての会場から出された意見としては、行政の進め方に対して、この「複合型中心拠点誘導施設の整備構想」は既に決まっているのではないかと、市民の意見を聞いてもらえるのか、どこまで反映されるのか、という声があった一方で、構想通り進めて欲しいという賛成の声もありました。

また、市が開催した説明会および「議会と語る会」への参加者が少なく、特に周辺部の市民の関心の薄さと構想を理解されていない実態が浮き彫りになりました。

具体的には複合型中心拠点誘導施設建設にあたり、財政への心配、公平な税金の使い方に対する疑問、これまでのコンパクトシティの核づくりの投資効果を検証すべき等々、批判的な意見が多く出され、まだまだ説明不足と言わざるを得ません。

公共施設への要望は様々で、また公共交通ターミナルおよび駐車場へは使い勝手の良さや利便性、安全性を保てる整備を望む声が多く出されました。

自治基本条例で謳われている市民協働が活かされておらず、基本計画の策定に至るプロセスにおいては市民協働が進められるよう、改善されることを強く望むものです。

商業施設に対しては（株）ツルヤ主導が良いのか、テナント料が回収できるのか等の、声、また是非ツルヤでやって欲しいという声も寄せられました。

複合型中心拠点誘導施設完成後の費用対効果と中心市街地活性化に向けての政策展開をどのように考えているのかとの声もあり、行政として市民の声を真摯に受け止め、より市民益につながる事業となるよう強く要望します。

議会の予算決算委員会でも今後審議していきますので、早い情報提供と丁寧な説明に努められ、総事業費29億円については増額の無いよう圧縮されることを求めます。

尚、「議会と語る会」で出されました市民の声を資料として添付しますので、基本計画（案）への反映に努められたい。